

3 月号

2010(平成22)年
3月12日発行

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニューズレター
[ネオス] No. 9

発行元：学校法人大阪産業大学
総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>

■学長・学生座談会……02

「面白い」大学めざし、もっと努力と挑戦を

■新入生向け 学内便利MAP……06

■キャリアセンター……08

キャリア支援プログラム
卒業生社長との情報交換会 他

■卒業特集……10

■中学・高校トピックス……12

■ニュース&トピックス……14

■中川晶のキャンパスセラピー
編集後記……20

国際交流は、おしゃべりから
ランゲージカフェ・学年末パーティー



Language
Cafe Party!

学長・学生座談会

新入生へ 先輩からのメッセージ



(左から) 杵淵さん、桐島さん、大黒さん、西口さん、籠谷学長、小松さん、栗延さん、熊谷さん

新入生のみなさんに大阪産業大学の魅力を紹介するため、籠谷正則学長と先輩学生による座談会を開きました。学生生活を120%楽しんでいる先輩、苦しくても自らに挑戦する仲間、異文化発見や人間関係構築に励む情熱家たち——。大産大にはこんな「面白い」世界が広がっているのです。先輩たちの活躍を知り、新たに始まるキャンパスライフに生かしてください。ガンバレ新入生たち!!

面白い

もっと努力と挑戦を

夢を追い、技術身につけ

籠谷 最初に、今取り組んでいる活動を紹介してもらえますか。

小松 僕は、学生フォーミュラ参戦プロジェクトに参加しています。1年間かけて小型のフォーミュラカーを製作して、レースに参戦するというプロジェクトです。今は9月の大会に向けて、車両製作に励んでいます。

籠谷 なぜ参加しようと思ったのですか？

小松 車が好きで、整備などもできるようになりたいと思っていたのですが、授業だけでは自分が早く知りたいこと、より深く学びたいことが、思うようにはやれない。それで、プロジェクト共有の紹介パンフレットをみると、自動車関連のプロジェクトが多くて、その中で自分が

好きなモータースポーツということで、このプロジェクトに参加しました。

籠谷 授業でも溶接実習などはあるけれど、プロジェクトでやるように、ある製作物、目的があって、それをめざしてまとまった形で技術を身につけるということは難しいですからね。

小松 そうなんです。参加してみると、先輩たちが工作機械を駆使して、鉄板を切ったり曲げたり、鉄パイプを切って溶接したりしているんです。1年間やってみて、僕もそれができるようになりましたし、単に溶接するだけではなく、溶接もやりようによって強度に違いが出るといったことが、実体験として理解できました。

籠谷 栗延君は、文化会本部の役員と鉄道研究部、両方で頑張っているんですね。

栗延 文化会本部というのは、文化会クラブの総括、支援などの活動をしています。各クラブは、本部に1、2人を出さないといけないという決まりがあるのですが、僕が鉄道研究部に入った当時、本部に人を出していなかった。でも僕は中学や高校で生徒会活動もしていたので、行きますと手を挙げました。鉄道研究部の活動に専念したい気持ちもありましたが、



こまつ ゆうへい
小松侑平さん
工学部交通機械工学科2年生
学生フォーミュラ参戦プロジェクト

誰かが本部の活動をしないと研究部の活動にも支障が出ます。鉄道研究部と文化会本部の活動は両立できるという自信もありました。

自分から行動し、楽しく

熊谷 私たちがやっている快適キャンパスライフサポートプロジェクトは、mixiのようなSNS、つまりソーシャル・ネットワークワーキング・サービスというインターネット上のコミュニティーですが、これを大産大という枠組みで作って運営し、学部、学科、学年を超えて、キャンパスの誰もが友達になろうという活動です。私は最初、SNSが何かさえ知らなかったのですが、入学して初めてできた友達が、このプロジェクトに参加していて誘ってくれたのです。どんな活動なのかと興味を持ってのぞいてみると、指導役の先生からわかりやすく説明していただいて、参加を決めました。仲間を増やしたいのですが、プログラミング技術も必要で、文系の人には少し難しい印象があるかも知れません。



くまがい あきよし
熊谷映郎さん
工学部情報システム工学科1年生
快適キャンパスライフサポートプロジェクト

籠谷 そういう専門知識がなくても、興味さえあれば、どんどん参加してもらおうがいいでしょうね。たとえば、そのSNSのスポンサー探しなどは、文系でも理系でも、活躍できますね。プログラミングやシステム構築だけでは、学科の勉強とあまり変わらないことになるでしょう。

熊谷 広報活動としてのチラシづくりなどは、文系の人にも活躍してもらえるなと思っています。

籠谷 杵淵君も、国際なかまプロジェクトの会長と柔道部の副キャプテンという、

二足のワラジですね。

杵淵 国際なかまプロジェクトは、海外からの留学生の歓迎会をしたり、彼らと一っしょに日本各地を訪問したり、それぞれの国の紹介をしあったり、ともかく国際的な仲間づくりを進めるプロジェクトです。柔道部の練習は週6日、うち3日間は午前7時50分から8時40分までの朝練もあって、ほんとうに忙しいのですが、僕は、いろんな友達を作ること、いろんな人に出会ってさまざまな話を聞いて、自分の知らないことを知ることが好きなのです。

籠谷 あなたは東京出身なのですか。

杵淵 はい。親元を離れたくて、こっちに來たんです。それで柔道部の仲間とはすぐに親しくなったんですが、同じ柔道をしているからと言っても、考え方や価値観が同じとは限らないし、一方で、考え方や価値観が同じ人とだけ付き合う必要もないと思ったんです。もっと別の関係の、いろんな友達がほしいと思った。その友達、国や文化が違えば、もっと新鮮な驚きや感動があるなと思って、国際なかまプロジェクトに参加しました。柔道部以外で最初にできた友達が、桐島君です。2回生の時、キャリアセンター主催の就職スキルアップ研修に参加した時ですね。

桐島 僕も、大学に入ってみて先輩たちと関わる時間が少ないように感じました。高校までラグビーをしていて、大学に入ったら勉強すると決めていたのですが、実際は遊んでしまったのです。高校でのクラブ漬けの生活とあまりにもギャップがあり過ぎたんです。これではいけない、「オレはもう一度、輝きたい」と思って(笑)、就職スキルアップ研修に参加しました。そして、自分から行動することで学生生活が楽しくなることに気づいて、いろんな活動に取り組み始めました。

異文化への興味から留学

籠谷 大黒さんはチアリーディング。前からやっていたのですか。



おおぐら たかみ
大黒祐美さん
人間環境学部スポーツ健康学科2年生
チアリーディングチーム主将

大黒 いえ、大学に入ってからなんです。私は中高の6年間、ずっとバレーボールをしてました。スポーツ健康学科に入り、将来は体育の教員になりたいので、とにかく何かのスポーツ、運動系の活動をしたと思っていました。たまたま友達に誘われたのがチアリーディングチームです。最初は、絶対にできないと思っていたんです。あんな短いスカートはいて(笑)。それでも、自分がやったことのない、新しいことに挑戦するのもいいかと思って参加しました。

籠谷 西口君は、ドイツの大学に1年間の長期留学。どんなきっかけですか。

西口 文化環境学科では第二外国語を取る必要があったんです。それで、何となくドイツ語を選んで、夏休みの間の短期語学留学に参加しました。もっとも印象的だったのは街の美しさなんです。こんなに美しい街を造って、守っているドイツ人やドイツ文化というのはどんなものかと、俄然、興味が湧きました。それで、もっと本気でドイツを学ぼうと思い、1年間の留学試験に挑戦して、何とか合格、留学できたというわけです。その結果、今、5回生をやっていますが(笑)。

籠谷 異文化の真っ只中に1年間、苦労もあったでしょう。

西口 やはり勉強が大変でした。他の留学生はフランスにしてもイギリス、アメリカにしても、同じアルファベットを使う文化圏ですから、ドイツ語も比較的早く理解するんです。でも、僕は漢字文化圏。気がついたら、一気に置いていかれていました。毎日、宿舎に帰ってから3時間か4時間、必死で勉強しましたが、追いつめられた気分になって、夜、心臓が



にしぐちまさあき
西口真史さん
人間環境学部文化環境学科5回生
ヴェルツブルク大学留學

ドキドキして眠れないことも何度かありましたね。

籠谷 言葉の勉強は、思い切って相手の世界に飛び込んでしまうことが大切でしょうね。

西口 そうですね、僕が入ったヴェルツブルク大学というところは外国語教育専門ではなく、ドイツ語授業も週に2時間だけでしたから、僕も土曜などには積極的に街に出て、いろんな人と話をするようにしました。ヴェルツブルクはミュンヘンとフランクフルトの真ん中くらいに位置する、とてもきれいな学園都市です。そして、ドイツの人たちは、人と人との関わりが非常に強いんです。たとえば、大学そばの道を歩いていると、庭いじりをしているおじさんが気さくに声をかけてくれます。

知らなかった世界を知る

籠谷 大黒さんは何か苦労がありますか。

大黒 苦労と言っても、自分が好きでやっていることです。もちろん、クラブ活動をしていない学生のような生活をしたいなど、ふと思うことはあります。授業が終わって皆で御飯を食べに行ったり、土曜、日曜には、遊びに出かけたり。クラブ活動ばかりしてるのはシンDOIなど思うこともあります。大学生って、こんなんだろうかと思ったり(笑)。

杵淵 春休みとか、旅行にでも行きたいなど思うことがあるよね。

大黒 そうですね。でも、やっぱり自分が好きでやっていることだし、チアリーダーディングという自分の知らなかった世界を知ることができたのは、ほんとうに良かったと思っています。

桐島 僕の場合、苦労というか障害は、自分とはまったく考え方の違う人に遭遇することですね。僕は、杵淵君と同じで、いろんな人と友達になりたいし、いっしょに活動したい。国際なかまプロジェクトの他にも、学外で、アーティストの作品を展示したりするイベント企画の活動もしているし、16号館1階の学食・ZENで他の大学の学生との交流会やパーティーを開いたりもしています。

杵淵 彼は、下級生たちにも自分から声をかけて、履修の相談なんかに乗ってあげたりしていますね。

桐島 でも、相手がそこまで求めてない、という場合があるんです。拒否されると言うか、そんな出会いは別にいらないよという感じです。だから、あるイベントを企画して、参加してくれる学生の数を事前に確認していても、当日になってたとえば90人中15人が「風邪」をひくんです、必ず(笑)。僕としてはそれはウソというか、口実だと判っているんですが、わからないフリをしている。



きりしま まこと
桐島 誠さん
経済学部国際経済学科3回生
国際なかまプロジェクト

籠谷 90人中15人なら、優秀ですよ。

杵淵 僕はとくに苦労って感じませんね。もちろん、忙しいのは忙しいですが、プロジェクトのほうは自分なりに、留学生の話聞いてあげてその場でアドバイスする程度だし、発表会の準備など、他にやらなければいけないことは、プロジェクトの仲間にも助けてもらえる部分も大きいからです。

熊谷 私たちの活動は、SNS構築という技術面での苦労もありますが、何といっても中央キャンパスの学生、文化系学生の参加が少ないのが課題です。今、加入者は200人足らずで、オフ会をやって皆

でもっと交流を深めたいです。先日、東部キャンパスの学食で40人くらいが集まってオフ会をして、OBの方も来てくださるなど、すごく好評でした。

栗延 僕の苦労というと、先ほども言った通り、文化会本部は義務感で来ている人もいるため、皆の意識をそろえること



くりのぶとしふみ
栗延敏文さん
経営学部流通学科4回生
文化会本部長／鉄道研究部

が難しいですね。片や、鉄道研究部の活動では、模型を作って走らせることだけに喜びを見出す学生もいれば、列車の写真撮影して本を出版することだけに命をかけているような学生もいて、そういう対立には結構激しいものがあるんです(笑)。皆でまとまってやっていくことの大変さは痛感しています。

社会人基礎力を養成中

籠谷 小松君の苦労は。

小松 スケジュールにしたがって進めて行くことですね。前の年に作った車の、どの部品がダメだとか、どの部品は次の車にも使えるとか、そういう評価からスタートして、ようやく設計にかかれるんです。自分の担当する部品の強度不足で、他の部分も先に進めないといったことも起きて、すごく落ち込んだりすることもある。今も実際に、スケジュールから遅れているんですけど(笑)。

籠谷 過去には、テスト走行もしないまま、大会に出場することもあったね。

杵淵 学長の苦労は何ですか。

籠谷 僕の苦労ですか(笑)。そう、たとえば、何か良かれと思う取り組みをしたくても、いろんな立場の教職員の合意を得て行くことが難しいですね。教職員は誰でも、学生のためにより良い教育をしたいと望んでいますが、方法論はそれぞ

れ違いますから。皆さんの話を聞いていても感じるのは、この社会、何かに取り組んでいくというのは結局、人と人とのつながり、関わりをいかに上手に調整するか、ということでしょう。皆さんは今、それぞれの活動を通して、まさに、社会人基礎力を身につけているところだと感じますね。そういう意味で、それぞれの活動に取り組む中で、自分自身、どう変わったか、どう成長できたか、そして、今後の目標についても聞かせてください。

西口 僕はこの5年間で、自分の意識がより広い世界に向くようになったと感じます。国内外を問わず、以前なら、関心を持たなかったようなことにも関心を持つようになった。ドイツ語はそこそこ身についたと思うので、今後はもっと英語の勉強に力を入れたいですね。

大黒 私は、たとえばアメフト部員たちや野球部員と親しくなったりするなど、チアをやっていなければ関わるはずのなかった人たちと知り合い、友達になれました。そんな経験を通して、自分自身、ずいぶん明るくなったと感じます。これからはチアを通して、自分が人に何かを訴えかけ、感動でも共感でも、何かを与えられるようになりたいですね。そして、将来はぜひ体育教員になりたいです。

桐島 僕はこれまで多くの人と接し、いろんな価値観を知ることができました。自分とはまったく考え方の違う人もいるということも知り、それはそれでよかったと思います。僕自身、学生生活を楽しめるようになったのは、2回生の就職スキルアップ合宿に参加してからで、今後は後輩達にも、そういうきっかけ作りをしてあげたいと思います。

大切なのは人間関係

杵淵 これまで3年間、柔道に取り組む

人と積極的に交流して 多様な価値観を知ろう



一方で、留学生の友達もたくさんできました。中東のある国からの留学生のように、授業に遅れるのも授業をさぼるのも当たり前、というような考え方を含め、自分が知らなかったことをたくさん知ることができました。とくに、留学生が楽しい留学生活だったと言って帰れるような産大にしたい。留学が楽しいか楽しくないか。帰国する彼らに聞いてみると、その差は、日本人の友達ができたかどうかなんです。



杵淵 承平さん
経済学部国際経済学科3年生
国際なかもプロジェクト／柔道部

籠谷 熊谷さんは、まだ1年もたっていないけれど、どうですか。

熊谷 自分のここが変わったという実感はありませんが、高校のときより友達と話す機会が増えました。SNSで、日記に今日はゲーセンでこんなぬいぐるみを取ったとか、他愛もないことを書いてもすぐに、よかったねと返事がもらえるといううれしい状況になっているんです。これからも、私のようにSNSでたくさんの友達をつくってもらえるように、他の学生にもこの楽しさを味わってもらえるように、頑張りたいです。大産大のSNSは <http://s-up.in/> です。ぜひ参加してください。

栗延 僕も、自分が変わったという感覚はありません。むしろ、以前からやってきていることの延長という感じです。ただ、対人関係の難しさを知ったし、それにどう対処すべきか、冷静に考えられるようになりました。今後は、鉄道研究部での本の発刊と、文化会本部の総仕上げとして、何か大きなイベントをしたいと思っています。

小松 僕ははっきりと、自分のものの考え方が変わったことを感じます。好きな車も、以前なら、どこかの誰かが造って市場に出るものという感覚でしたが、今は、ひとつのモノをつくるのにどれだけ多くの人が関わり、そこで色々な議論や対立、妥協や協調があるか想像できるようになりました。モノづくりには、いかに人間関係が大切か。知識や技術も重要ですが、人間関係がもっとも重要だと思い知らされました。最後の4年生では、ぜひ他の大学に負けないすばらしい車を造りたいですね。

籠谷 ひとりでも多くの産大生に、皆さんのような充実した学生生活を送ってもらいたいとつくづく思います。そのためには、楽しく大学に来られるような環境を、僕らが作って行かないといけないと、改めて責任も感じました。学生にとって本学が一番面白い、勉強もできる、遊びもできる、友達とも会える、自分のやりたいことに挑戦できる、そんな場にしたいですね。皆さんには、ぜひ協力をお願いします。今日はありがとうございました。

知ってトクする 学内便利MAP

学内には食堂、喫茶、コンビニ、ブックセンター、トラベルセンター、ATM 機など多数の店舗が営業しています。学生生活に直接関係のある学生対応窓口と店舗をキャンパスマップとともに、簡単にご紹介します。食堂などの店舗は、営業日・時間が授業期間以外は変更になることがありますのでご注意ください。

① キャンティーン フタバ

➡ 本館地下 1F

🕒 月～金 10:00 ～ 18:00
土 10:00 ～ 14:00

★ゆったりした広いスペース
でくつろげるのが魅力



② ATM (三井住友銀行)

➡ 本館 1F: 学生生活課前

🕒 月～金 9:00 ～ 19:00
土 9:00 ～ 17:00

★自動現金預払機



③ 喫茶 四国

➡ 本館 2F

🕒 月～土 8:30 ～ 17:00

★ボリューム満点の定食は
男子学生の昼の定番



⑤ OSU トラベルセンター

➡ 12 号館 1F

🕒 月～金 9:30 ～ 17:30
TEL.072-870-1601

★国内・海外の旅券、宿泊の
発券と予約 OK



⑥ コンビナス

➡ 12 号館 1F

🕒 月～金 8:30 ～ 18:00
土 8:30 ～ 14:00

★手作り弁当が売っています



⑦ 山口食堂

➡ 12 号館 1F

🕒 月～金 10:00 ～ 15:00
土 10:00 ～ 14:00

★リーズナブルな値段の
定食メニューが豊富



⑧ パウダールーム

➡ 9 号館 1F



⑨ 学習支援センター

➡ 9 号館 1F

🕒 月～金 10:30 ～ 17:00

★数学・物理・化学と都市
創造工学科専門科目に関する
基礎知識の相談・サポート



⑩ なんでも相談所

➡ 5 号館 1F

🕒 月～金 9:00 ～ 17:00

★大学の仕組みや、何かを
やってみたいなど、学生の
さまざまな質問・相談にお答えします



5 号館

1F: 教育支援センター

(資格取得、プロジェクト共有等に関すること)

12 号館

5F: 学生相談室

(心の悩み、対人関係、セクハラ等の相談を
受け付けます)

本館 (11 号館)

1F: 教務課

(授業、試験、学籍、授業料等に関すること)

1F: 学生生活課

(クラブ・サークル、奨学金、学生生活に
関すること)

1F: 国際交流課

(留学・海外研修、留学生支援制度や生活相談
に関すること)

2F: キャリアセンター

(就職活動、企業・求人情報、インターンシップ
に関すること)

「フレッツ・スポット」アクセスポイント

- ・本館 1 階 ホワイエ
- ・本館 地下食堂
- ・15 号館 1 階

対応パソコン持参者は、
公衆無線 LAN が利用いただけます。
詳しくは、NTT 西日本
TEL 0120-066379

中央キャンパス

総合体育館

9号館

1F: コピー機

7号館

12号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

5号館

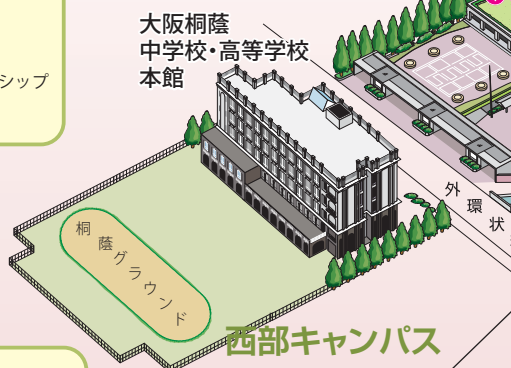
5号館

5号館

5号館

5号館

大阪桐蔭
中学校・高等学校
本館



西部キャンパス

④ ランゲージカフェ

(2F: STUDY HALL)

➡ 本館と 12 号館の間

🕒 月～金 12:00 ～ 17:00

★お茶を飲みながら自由に
外国語を話せるスペース



24 Wellness 2008

スポーツ健康学科以外の学生も使用可。
学生証、ジャージ、館内シューズをご持参
下さい。いきいき大東スポーツクラブの施
設としても使用しています。
詳しくは、Wellness2008まで



19 おくだ食堂

➡ クラブハウス 1F

☉ 月～金 7:00～17:00
土 7:00～14:00

★リーズナブルな朝定食
は一人暮らしの強い味方



20 源 S cafe (ゲンズ カフェ)

➡ 15号館 1F

☉ 月～金 11:00～19:00

★無添加・旬の食材を
使ったヘルシー料理が
自慢



21 パウダールーム

➡ 15号館各フロア



自動車整備
センター (AMC)

大阪桐蔭
高等学校
東館

バス停
「産業大学前」

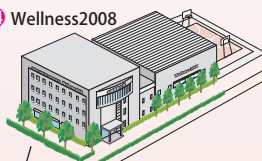
新産業
研究開発センター

14号館

16号館

シャトルバス
発着所

24 Wellness2008



11 ひっぱりだこ

➡ 中央キャンパス総合体育館前

☉ 月～金 11:00～19:00

★待たずにアツアツ、
電話オーダーも OK



12 ヘルシーキッチン TIAMO

➡ 16号館 1F

☉ 月～金 10:00～17:00

★オリジナル産大バーガー
が人気



22 タベルナ リモコンテ

➡ クリスタルテラス

☉ 月～金 9:30～18:00
土 9:30～14:00

★家庭料理の味付け、
朝定食もあります



クリスタルテラス

1F西側：
東部学生センター

(学生の窓口相談、就職に関すること、学生
生活に関すること、修学・履修に関すること、
その他学生相談全般)



23 クリエイトセンター

➡ 8号館 2F 8201 室

☉ 24 時間利用可能



★プロジェクト活動やものづくり
教室などの地域社会への支援活動
を行っています

東部キャンパス

「フレッツ・スポット」
アクセスポイント
15号館 1 階

セミナーハウス

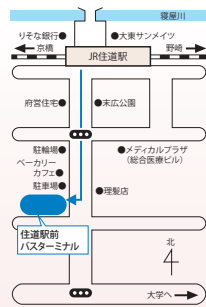
ゲストハウス

●大学シャトルバスについて

大学とJR住道駅間をシャトルバスが運行
しています。ご利用に際しては、利用券 (1
枚 50 円) が必要です。利用券は本館 1F 経
理課前自販機、ローソン大阪産業大学店、
住道バスターミナルで販売しています。



バス時刻表
QR コード



13 central kitchen ZEN

➡ 16号館 1F

☉ 月～金 8:00～15:00

★和食と洋食のいいとこ
取りの「とりマヨ丼」
などがユニーク



14 ローソン大阪産業大学店

➡ 16号館 1F

☉ 月～金 8:00～21:00

★フライドフーズ充実



15 PHOTO SHOP

➡ 16号館 1F

★証明写真が撮れます



16 保健管理センター

➡ 16号館 1F

☉ 月～金 9:00～19:00
土 (前期) 9:00～18:00
土 (後期) 9:00～15:00



17 Parfai T.T

➡ 16号館 2F

☉ 月～金 10:00～17:00

★有機野菜を使い、
すべて手作り料理を提供



18 大阪産業大学ブックセンター

➡ 16号館 3F

☉ 月～金 10:00～17:00

★書籍、雑誌、文房具、
製図用具、DVD 等



キャリアセンターは 各学年で活用できます

就活に備え、自己確立を！

新入生向け

キャリア支援プログラム

キャリアセンターでは、全学部1年生を対象にキャリア支援プログラムを実施します。



昨年のキャリア支援プログラムの様子

外部より専門講師をお招きして「卒業したらどうするのか、早い段階から自分自身を見つめ直し、将来をしっかりと定め自己確立をし、社会で生き抜く能力を身につける」ことを目的とした講義を学科別に授業形式で行います。

昨年の実施内容は、学生が「自己整理シート」に記入した自分の強み、学生生活の目標、夢、今までの経験等を、専門家の添削によるアドバイスを付けて学生へ返却。フォローとして

- ①大学生の歩き方
- ②他人から見た自分
- ③あんな人になりたい
- ④もっと世の中を知ろう

をテーマに4回の講義を実施しました。

今年も、昨年のプログラムを見直して、さらに学生に役立つ内容で実施します。

キャリア支援プログラムに積極的に参加して来るべき就活に備えましょう！

● 過去の参加学生の感想 ●

- ・就職のことや自分自身の事をこんなに詳しく聞けて、とても良かった。自分のためになる話ばかりだったので、欠席せず話を聞こうと思った。
- ・他の授業よりもとても興味がわいた。
- ・今不況で将来に不安だったので、今日は良い機会だった。これを機に自分を見直して将来を考えるきっかけになった。
- ・4回の授業で少し就職に対する意識が変わり、前向きになった。

合同企業説明会を活用しよう！

2010年度の就職状況と今後について

1. 全般的状況

11年3月卒業予定者に対する採用は、国内の景気が悪化する中で、一段と厳しい状況になると予想されます。厚生労働省が1月の有効求人倍率、0.67倍と発表したが、大学生新卒者の求人は、採用計画を決めていない企業もあり、企業全体を見れば、景気の先行きは不透明です。

しかし、採用を絞る企業が目立つ中、不況下でも採用を極力維持し、年次構成にゆがみが出ないよう配慮する企業もあります。ただし、新卒採用に対する厳選採用方針はより強くなると考えられます。

2. 本学の状況

09年度の求人件数は、2月1日現在、08年度より14%減の4533社。追加求人も減少する中、就職戦線も前年同様長期化し

ました。しかし、2月から12月まで33回開催した学内合同企業説明会には、延べ

450社と参加企業数が増加。説明会参加学生の内定につながるケースも増加しており、学内説明会が内定獲得の大きなチャンスになりつつあります。

2010年3月～6月 キャリアセンター行事

2010.2.12現在

月	行 事	月 日	対象(回生)
3	インターンシップ説明会	3月25日(木)	現2
4	インターンシップ申込	3月26日(金)～4月9日(金)	3
	4回生就職ガイダンス	4月16日(金)・27日(火)・30日(金)	4
	学内合同企業説明会	4月27日(火)	4
5	4回生就職ワーキングセミナー	5月11日(火)	4
	インターンシップ事前学習①	5月15日(土)	3
	学内合同企業説明会	5月14日(金)・28日(金)	4
	3回生第1回就職ガイダンス	5月18日(火)	3
	2回生第1回就職ガイダンス	5月25日(火)	2
6	3回生SPIテスト・解説	6月1日(火)	3
	学内合同企業説明会	6月11日(金)・25日(金)	4
	面接・ビジネスマナー講座	6月15日(火)	3
	短大第1回就職ガイダンス	6月15日(火)	短大1
	2回生SPIテスト・解説	6月22日(火)	2
	外国人留学生ガイダンス	6月29日(火)	留学生1・2・3
	メイクアップ講座(女子)	6月29日(火)	3



大学とのパイプを太く！ 卒業生社長と情報交換会

キャリアセンターは1月20日、学生の就職先開拓に役立てようと、卒業生社長との情報交換会を梅田サテライトキャンパスで開催しました。当日は、約20人の社長の参加があり、学長、各学科のキャリア委員、キャリアセンター職員などと

活発な情報交換が行われました。また、校友会からも会長はじめ5人の役員の参加があり、卒業生社長との交流を深めました。

第1部では、各社長の自己紹介、本学・校友会出席者紹介、あいさつに続いて、

キャリアセンター長からその取り組みと方針、求人依頼、学生への講演の依頼などが行われ、各社長から



も大学とのパイプを太くして、大学が推薦する有能な学生を採用していきたいとの前向きな発言をいただきました。第2部では、電子情報通信工学科キャリア委員の鈴木教授による乾杯のあいさつの後、和やかな雰囲気の中、名刺交換、情報交換が行われ、次回開催を約束して閉会となりました。

後日談ですが、さっそく数社からキャリアセンターに求人票が届いています。

新
3年生
対象

インターンシップ説明会開催迫る

2010年度夏期インターンシップの説明会が3月25日に開催されます。例年数百名の2年生の参加があり、会場は毎回「やる気」が「熱気」となり90分がアツと言う間に過ぎる空間になるのです。

この説明会をスタートラインとして10月の報告会までのインターンシップの行事が約半年間続きます。



と、参加する皆さんにはスケジュールが一杯です。また、実習期間は夏期休暇中ですから、休みたい気持ちを横目で見ながら1～2週間、一日なれない職場で正社員の方々と同様に過ごすことになるでしょう。しかし、その苦労がインターンシップを終了したあと大きな満足感、達成感となって皆さんに返ってくるのです。毎年インターンシップ実習を終えた皆さんのあの生き生きとした姿を見ると「そう、よかったね」と思わず声を掛けてしまいます。

学生の皆さんにとってアルバイトとは違う企業の業務を体験することになるので、これはまたとないチャンスです。そして、その後に来る就職活動本番につながっていくことでしょう。年々受け入れ事業所の御理解も深まり参加業種・職種も多様化してきました。時には実習現場で働く卒業生や他校の学生との交流があり永く思い出に残る夏になるかもしれません。

では、皆さんのご参加をお待ちしています。

インターンシップ学生体験談

ものづくりの現場を知った 工学部交通機械工学科3年生 北野亮太



私は、ものづくりに興味があり、それには技術だけではなく他にどういったことが大切なのかを学びたいと思いました。お世話になった企業は(株)堀内機械という油圧シリンダーの総合メーカーです。インターンシップの10日間、本当に充実した日々を過ごせました。CADを使うフォーマット現場での作業は朝が早く、又工場内はとても暑く仕事の大変さが良く分かりました。これらの作業体験を通して、仕事を正確に速く仕上げることの大切さや報告の重要性がわかりました。担当者の方には就職活動の相談も受けていただき、とても参考になりました。当初のテーマであるものづくりの現場を知り、非常に多くのことを得られたと思います。この経験を今後就職活動に生かしたいと思います。

.....

つながる事の大切さ

経済学部国際経済学科3年生 桐島誠



新しい自分の才能・長所を見つける。これが私が決めたインターンシップのテーマでした。西川産業(株)とマザックニシカワ(株)へ2週間ほど勤務させていただきました。業務内容は主に営業同行です。参加して感じた事は「人とのつながりの大切さ」です。そこでの営業担当者は、自らアクションを起こし、人とつながる事で多くの成果を達成されていました。これは私の大学生活を大きく変えるものとなりました。自分から動くことによって、大学生活はすごく楽しくなります。多くの先輩・教授と話をすることで、きっと多くの「きっかけ」に出会う事があると思います。インターンシップも、そのきっかけになる一つです。自分の心の奥にある「〇〇をやりたい!」「〇〇になりたい!」という声を出し続けると、絶対に仲間ができます。



大阪産業大学・同短期大学部
学長 籠谷正則

第一歩を踏み出そう

大学・短期大学部卒業生の皆さん、大学院修了生の皆さん、卒業ならびに修了おめでとうございます。

さて、卒業生や修了生の皆さんは本学において、社会人となるための基礎をすでに固められました。このちは、世の中に身を委ねて、荒波にもまれてください。基礎の固まった皆さんなら、社会に磨かれることでおおいに輝きを増すことでしょう。

しかし、これからの人生を乗り切り、物事を

成就するための最大のコツは、何はともあれ「第一歩」を踏み出すことです。第一歩を踏み出さないかぎり、永久に成功はあり得ません。反対に第一歩さえ踏み出すことができれば、物事は必ず達成できます。なぜなら、第一歩を踏み出した途端、周りの状況が変化するからです。変化した状況に対応しながら、次の一步を踏み出す。たゆまず、それを続けていく。そのことで目標は近づいてくるのです。

道の途中で失敗や挫折もあるでしょう。しかし、失敗や挫折を恐れることはありません。成功の芽は、一見無駄に見えるものの中に潜んでいるからです。とにかく第一歩を踏み出す。そして、挫折をも糧としながら、さらに歩を進める。そうした地道な努力が大切だと思います。

また、卒業生の皆さんには、本学の持つ知的財産を存分に利用していただきたい。と同時に、本学のネットワークを構成する大きな柱ともなっていたいただきたい。本学は、あなたを取り巻くネットワークの結び目の一つなのです。母校はいつも開かれています。自ら選んだ道を自らの意思によって歩き続けるために活用してください。皆さんのご健闘を祈念しています。

平成22年3月19日

青春したよ

大産大で

卒業生4人のメッセージ

私が大学に進学した理由は、幼少時に住んでいた地域が台風による洪水で家が浸水の被害を受けたことです。その時私は、「自分が大人になったら、このような自然災害から地元の人々を守りたい」と思い、高校は土木系の学科に進み、更に土木の知識を深めるため大学進学を決めました。

中学・高校では部活動をしていましたが、大学では勉強だけに集中することにしました。講義中は、先生の言葉一つ一つを聞き逃すことなく多くの知識を吸収することに徹し、必死にノートを取り、わからないことは授業後に必ず先生の研究室を訪ね、自分自身が理解できるまで教えていただき自分のものとししました。また、資格の取得では、大学でしか取得できない教員免許取得に力を入れました。そして、「地元の人々を自然災害から守りたい」という目標達成のために公務員を志し、大学2回生の時から教育支援センターの公務員講座を受講。大学の講義と両立させるのが時間的制約で苦しい時もありましたが、これを成し遂げることができました。卒業研究では他大学との共同研究を約1年間行い、私自身の考え方

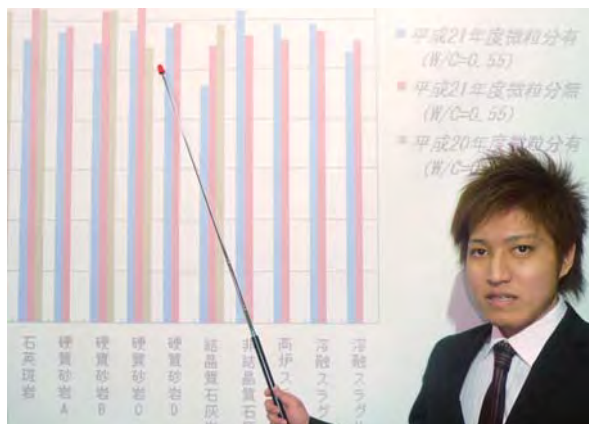
地元を災害から守りたい

工学部都市創造工学科 坂地秀友

や視野が広がっていくのを日々実感し、とても有意義な時間を過ごすことができました。

大学で自分自身がどういう目標を持って学ぶのか、常にその意識を忘れてはならないし、大学生活が今までの人生の中で重要な時間でした。たくさんの先生や友人・先輩に恵まれて、志を高めて自分が磨かれていく実感を味わい、後悔のない4年間でした。

(和歌山県新宮市役所に就職内定)





EDDの編集スタッフ(中列左端が池之内さん)

私は、EDDnewsletter
(以下 EDD)という環境
デザイン学科の新聞の編

集委員をしてきました。編集作業は企画から取材、
編集まですべてを学生だけで行うため、決して楽しいこと
ばかりではありませんでした。作業の右も左もわからない
まま先輩が引退してしまい、毎日が試行錯誤の連続。ただ
ただ走り続けた4年間でした。

そして引退した今、ふと振り返ってみると、たくさんの
宝物と経験が詰まっていました。上辺だけの付き合いでは
なく、何度もぶつかり、共に助け合い、苦楽を共にした仲
間は私の一番の宝物です。この仲間に出会えてなかったら、
今の私はなかったと思えるくらい大切な存在です。そして、

工学部環境デザイン学科 池之内 香

苦勞の先にある幸せ

普通の学生生活を送っていただけでは、経験できなかった
であろう貴重な経験を通して、何事にも通ずる一つの事に
気づかせてもらいました。「自分の好きなことや楽しいこと
だけをしていても、インスタントな喜びしか得ることは出
来ない。しかし、苦勞の末の達成感は、言葉では言い表せ
ないほどの至福と成長を与えてくれる」。どんなに辛くて
も、どんなに道のりが長くても、決して無駄なことは一つ
もない。その大きな壁を乗り越え
た人だけがわかる幸福感。私は、
この4年という短い期間で何度も
体験させてもらいました。大切な
仲間と共に迎えるこの瞬間が一番
の幸せでした。ありがとう、EDD。



ものづくりを通しての出会い

経済学部国際経済学科 相星千裕



私はクリエイティブセンターで、学生スタッフとしてもの
づくりに携わるさまざまな経験をさせていただきました。

センターではものづくりの楽しさを知ってもらうため
に、夏休みのオープンキャンパスに合わせて、小学生を
対象とした「ものづくり教室」を開催しています。学生
スタッフとして採用されたころは、ちょうど教室の準備
を行っていました。友達に誘われてクリエイティブセンター

のスタッフになったのですが、学生スタッフも利用者も
男の子ばかりでした。最初は居心地が悪く、なじめるか
心配でした。しかし、教室で行う出し物について会議で
意見を出し合い話し合うことで、その不安は無くなって
いきました。

準備は大変でしたが、当日はたくさんの小学生が参加
してくれました。女の子を対象に、ものづくりを体験し
てもらおうと思い、毛糸で作るヘアゴムを担当しました。
思いのほか反響があり、楽しそうにもものづくりに没頭す
る子どもたちの姿を見て企画してよかったなと思いま
した。また「来年も参加する」と声をかけてくれた子ども
たちもいて、遅くまで準備したかいがありました。

ここで、ものづくりを通して出会ったたくさんの人た
ちは大学生生活の大きな財産です。



私は中国からの留学生です。入学
当初、大学での勉強のやり方が全く
分からず、困りましたが、授業のあ
と先生のところに厚かましく聞きに
行き、教えていただいたおかげで、
徐々に理解できるようになりました。

1回生の時は履修登録が全く分からず苦勞したことを覚え
ていますが、2回生になって、演習室でチューターの方々に
教えてもらいながら登録できるようになり、問題は解消
しました。授業中は、とにかく一番前に座ることを心がけ
ることで、より理解が進みました。

大学は自由で、自分次第のところがあります。すべて自
分でやらなければならないのは大変ですが、言い換えれば、
自分がやる気になったら何でもやれるということで、時間
が経つにつれて、学生生活を楽しめるようになりました。

経営学部経営学科 王涵(おう・かん)

やる気になれば何でもできる

まず、私が取り組んだのは、学内外を問わず日本語スピー
チコンテストに参加することです。いい成績は残せません
でしたが、いろいろな方との出会いがあり、たくさんの情
報を収集することができました。コンテストでのテーマは
アルバイト先の話を中心にしました。

学生生活の中で最も力を入れたのは、オープンキャン
パスです。スタッフとして、保護者、高校生・中学生に大産
大のなるべく良いところを見てもらえるように気配りしな
がら案内をしました。その経験を通して、日本人の気持ち
も理解できるようになり、異文化交流を深めることがで
きたと喜んでます。

キャンパス内では、日本人学生との触れ合いが少なかっ
たのが少し心残りだったと今は思っています。

下宿している人は特に、健康管理を怠らないでください。
体が資本です。病気になると何もできないよ。

大産大附属中学・高校

思い出を胸に学窓に別れ

596人高校卒業式



高校の平成21年度(第62回)卒業証書授与式が1月30日、同校体育館で行われ、596人が懐かしい思い出と希望を胸に巣立っていった。

式では、校歌斉唱、学事報告に続き、卒業生総代の北山由佳さん(国際科進学)へ卒業証書が授与され、表彰状、賞状の授与が行われた後、平岡伸一郎校長が式辞を述べた。

平岡校長は「本日の卒業式に贈る言葉の代わりに、私はお茶の水女子大学の外山滋比古名誉教授が書かれ

た『思考の整理学』という文庫本を皆さんにできるだけ早い時期に読んでもらいたいと申し上げたい。外山先生は文中で、高校までは受動的に知識を得ることがほとんどで、得た能力は自力では飛べない『グライダー能力』。今後は自分で物事を考え、発見し、発明するという『飛行機能力』を身につけてはいけません、とおっしゃっています。この話の続きと

結論は、卒業生の皆さんがこの本を読み、そして考え、次にそれを行動に移してもらいたい」と激励した＝写真。

この後、来賓紹介、祝電披露、在校生代表の中田裕弥さん(普通科特進2年)の送辞、卒業生を代表して加島彩君(普通科特進)の答辞、下野瑞季さん(国際科特進)の卒業記念品目録贈呈、卒業生保護者代表の野入尊子さんから謝辞があり、閉式となった。

◆学外から表彰を受けた生徒

大阪府知事賞 北山由佳(国際科進学)
日本私立中学高校連合会賞 宗田直也(普通科進学)
大阪私立中学校高校連合会賞 門池真菜(普通科特進)

関西スポーツ賞&理事長賞

卒業生の奈良選手受賞ラッシュ

関西運動記者クラブ選出の第53回関西スポーツ賞の表彰式が1月21日、大阪市内のホテルで行われ、全日本テニス選



手権女子シングルスで初優勝を飾った奈良くるみ選手(普通科特進)が個人受賞した。高校生女王は4年ぶり。

また、奈良選手は在学中の活躍が高く評価され、高校卒業式で土橋理事長から理事長賞が贈られた＝写真。

山寄監督に競技団体別最優秀賞

アメフト・U19世界選手権で3位

高校アメリカンフットボール部の山寄隆夫監督が、第59回日本スポーツ賞の「競技団体別最優秀賞」を受賞した。昨年6月27日～7月7日に米国オハイオ州キャントンで開催された第1回U19ジュニア世界選手権大会に日本代表監督として出場し、チームを銅メダルに導いた手腕が評価された。大会には、日本、アメリカ、カナダ、メキシコ、ドイツ、スウェーデン、フランス、ニュージーランドの8カ国が参加。日本は準決勝でカナダに惜しくも敗れて、3位決定戦に回ったが、他国選手との体格差をものともしない戦いぶりは、関係者やファンから賞賛され、「フェアプレイ・チーム賞」と山寄監督に対する「最優秀ヘッドコーチ賞」が贈られた。



表彰式での山寄監督(右)とゴルフの石川遼選手写真提供 タッチダウン

山寄監督の話 荣誉ある賞をいただき、誠にうれしく思っております。この賞は私個人でなく選手・スタッフを代表していただいたものであり、皆様のご支援あつてのことだと思います。慢心することなく、今後も精進を重ねていく所存です。ありがとうございました。

—U19日本代表の世界選手権戦績—
・1回戦 10-7 ドイツ
・準決勝 35-38 カナダ
・3位決定戦 42-27 メキシコ

百人一首大会 保護者も多数参加

中学の恒例行事、百人一首大会が2月6日に行われた。1・2限目の授業参観の後、多数の保護者が出席する中、生徒たちは8人1組のグループに分かれて競いあった。

百人一首を覚えることは冬休みの宿題で、3学期の授業開始から早朝テストの範囲にもなる。皆、一生懸命努力して覚えただけに、大会では初句が読まれるとすぐ札の取り合いが始まり、中には「私が取った」とお互いに札を譲らない場面も見られた。

中学生になってから初めて百人一首を覚えた生徒もあり、大変だったと思うが実に楽しく有意義な大会となった。



大阪桐蔭中学・高校

662人新たに巣立つ 25期生高校卒業式

高校の平成21年度第22回・25期生の卒業式が、1月23日、大学総合体育館で挙行され、女子271人を含む662人が高校生活での思い出を胸に巣立っていった。

式は、来賓の他、学園役員や多数の保護者と在校生徒全員が出席。国歌と校歌の斉唱に続いて卒業証書が授与された。

森山信一校長は「第25期生の諸君、卒業おめでとう。明日からはこれまで以上に自分の人生に責任を持たなければなり

ません。自分が納得できる成果や成功を手にすることができるかどうかは自分次第です。物事に対する自身の姿勢がすべてを決めるのです。

『泰山(たいざん)は土壤を譲らず、故に大なり』という言葉があるように、度量の広い人は、どんな人の意見も聞き入れ大事業を成し遂げるものです。諸君は先ず身近な人を手本とするとよいでしょう」と式辞を述べた。

この後、来賓紹介に続き、岡本日出士・大東市長が祝辞を述べ、卒業生からの記念品目録贈呈。在校生代表の福留明寛さんの送辞、卒業生代表の松野友美さんの

答辞＝写真左＝、保護者を代表し桐友会の山添栄子さんの謝辞があり、プラスバンド部の演奏で「仰げば尊し」と「蛍の光」を斉唱し、厳粛のうちに閉式となった。

◆学外から表彰を受けた生徒

大阪府知事賞	植村 美紀 (I 類A1組)
日本私立中学高校連合会賞	名嘉真 悠 (I 類1組)
大阪私立中学校高校連合会賞	重松 翔平 (I 類A2組)
学校茶道奨励証	岩井保那美 (I 類A1組)
	ら14人



中学・高校音楽祭と高校Ⅲ類吹奏楽部第5回定期演奏会が2月16日、大阪市北区にあるザ・シンフォニーホールで開催された。

音楽祭中学の部は午前10時、高校の部は午後4時半の開始。保護者をはじめ多数が来場し、中学は3階席までほぼ満席となった。プログラムは中高ともに合唱コンクールが中心。各クラスは音楽の授業や放課後に練習を重ね、この日の発表を迎えた。傑出した音響効果を誇るホールに生徒たちの元気な歌声が響いた。中学の部ではミュージックベルの演奏、高校の部では合唱部の発表があった＝写真右。

各賞は次の通り。

【中学】グランプリ 3年ES1組

- | | | |
|----|---------|---------|
| 1年 | 金賞 E1組 | 銀賞 E3組 |
| 2年 | 金賞 ES1組 | 銀賞 ES3組 |
| 3年 | 金賞 ES4組 | 銀賞 ES3組 |

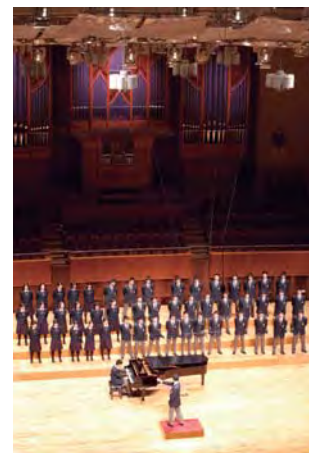
感動のステージに拍手止まず 中高音楽祭、吹奏楽部定期演奏会



【高校】1年グランプリ A2組

- | | |
|----|----------------|
| 金賞 | I 類3組 |
| 銀賞 | A1組、A3組、II 類1組 |

吹奏楽部の定期演奏会は、第1回公演が午後1時半、第2回公演が午後7時半から。平日にもかかわらず、およそ1700席ある会場は2回の公演とも満席に。本年度はコンクール、マーチングの両部門に



において全国大会で金賞を受賞し、注目を集める中での開催。全国大会で最高得点の評価を得た演奏はまさに圧巻で、会場からは割れんばかりの拍手がわき起こった。総勢158人による迫力ある演奏に加えて、歌唱もあり、引退する3年生の映像が特設スクリーンに映し出されるなど、演出も趣向に富み、感動のステージに集まった大勢の観客は音楽の楽しさを心ゆくまで楽しんだ＝写真左。

「日本一をめざす」

大阪桐蔭高、3年ぶりのセンバツ出場

●桐蔭高へ3年ぶりに「春」の便り——。第82回選抜高校野球大会(センバツ)の出場校を決める選考委員会が1月29日に開かれ、大阪桐蔭高校へは午後3時半過ぎに同委員会から出場を知らせる連絡が森山信一校長のもとに入った。同校硬式野球部にとって3年ぶり4回目となる出場が決定した。



出場決定の連絡を受ける森山校長

朗報を聞いた森山校長は、ただちにグラウンドで待機していた部員たちに報告。「先ほどセンバツ選考委員会から正式に出場決定の連絡がありました。おめでとうございます。春の大会での優勝はまだありませんので、今回のセンバツで全国優勝できるようがんばってください」と激励した。続いて、吹奏楽部によるお祝いの演奏が場を盛り上げると、選手たちは「ありがとうございます」と一礼、歓声をあげて喜んだ。

西谷浩一監督は「秋からバッティングを課題に取り組んできました。手応えというところまでいっていませんが、改善されています。全員の力を結集して、粘り強く戦い抜きたいと考えています」と抱負を話し、エースでもある福本翼主将は「待ちに待った日が来ました。僕らの『全員野球』で戦えば、日本一も夢ではないと思っています」と報道陣のインタビューに力強く答えた。



春の甲子園での大阪桐蔭高の最高の成績は1991年と2007年のベスト8進出。夏は通算5回出場し、91年と08年に全国制覇を果たしている。

組み合わせ抽選会は3月13日午前9時から行われ、大会は同月21日から12日間の予定で開催される。



帽子を放り投げてセンバツ出場を喜ぶ選手たち
インタビューに答える西谷監督



吹奏楽部によるお祝いの演奏



客席と一体交流深める

上海外国語大芸術団公演

●大産大孔子学院は1月19日午後、提携関係にある上海外国語大学の芸術団交流公演を大学多目的ホールで開催した。会場では、学生や教職員、外国人留学生、地域住民ら約200人が見つめる中、中国古来の多彩多芸な演奏や踊りなどが演じられ、演者と客席が一体となって交流を深めた。

中国では、旧正月の「春節」を2月14日に迎えることから、「皆さんと一緒に新春を分かち合いたいと思います」と団員の陳歆さんが日本語であいさつ。演目では、二胡や中阮、琵琶、古筝などの演奏、郷愁や恋愛をうたった民謡や古典舞踊など約20曲が演じられた。



料理やクイズで盛り上がる

孔子学院「元宵祭」



●大産大孔子学院は2月21日、大阪梅田サテライトキャンパスで中国の旧正月に行われる「元宵節」の祭りを1週間前倒した「元宵祭」として開催した。

「元宵節」は、旧正月後初めて満月となる2月28日で一連の正月行事が終わる日とされている。当日は孔子学院の受講生や教職員など約80人が参加。北京で「元宵」、南部地域で「湯円」と呼ばれる「あん入り白玉団子のスープ」を作ったり、元宵節に掲げられるちょうちんに隠れている漢字当てクイズなどを実施。琵琶や二胡を演奏するうちに、中国語で歌う受講生も現れ、和やかな雰囲気の中で、中国文化への理解を深めた。

倉橋学院長は「中国の文化と歴史を学べる場を提供しようと毎年開催している。催しを通じて中国文化が理解いただけたなら、うれしい」と話した。



今年も世界大会へ

きもの装いコンテスト

●2010年全日本きもの装いコンテスト関西大会が12月6日に、奈良県文化会館国際ホールで開催され、本学経営学部アパレル産業コースが学校対抗の部で3位に入賞し、世界大会への出場権を獲得した。

同コンテストは、和装振興の一環として1972年から、振袖、留袖、カジュアル、男性、子供、外国人、学校対抗の7部門で開催。鏡のない舞台上で、一人で素早く着装する技術と美しさ、きもの哲学「装道」の修得度などを競い、装い、容姿、立居振舞、情緒、言葉遣い、レポートの6点が審査された。本学が出場した学校対抗の部は、1チーム3人の総合点で競われ、井下綾さん、杉原彩花さん、田中優美さんの3人が出場した。世界大会は、4月に東京で開催される。



左から杉原彩花さん、田中優美さん、井下綾さん(各1回生)

写真コンテストで特選受賞

大学院生が微粒化シンポジウムで

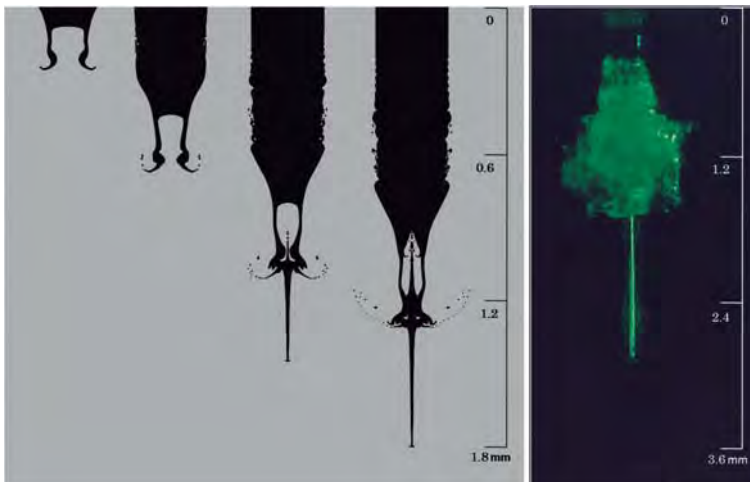
●昨年12月17、18日に開催された第18回微粒化シンポジウムで行われた写真コンテストで、本学工学研究科機械工学専攻2年生の坂東孝輔さんら4人が、最高得票を獲得し、特選を受賞した。

受賞により、2010年度に発行される「日本液化微粒化学会」の学会誌の表紙を受賞写真が飾ることになる。



坂東さん

写真は、直径0.3 μ mのノズルから秒速100%以上の高速で噴射されるディーゼル噴霧を拡大撮影したもので、図は、数値解析によって噴射されてから1万分の1秒までの初期段階の噴霧の発達過程が再現できた。また噴霧先端部での微粒化現象や突起が形成される過程やそのメカニズムも推測できた。



都市創造工学科が 吉野高校と 高大連携協定締結



都市創造工学科は昨年12月14日、奈良県立吉野高等学校との高大連携に関する協定書を同校で締結した。

調印式には、本学から斎藤日出治副学長＝写真左＝、玉野富雄教授、高見新一講師が出席。吉野高校からは、川合秀和校長＝写真右＝、山本雅章教頭、岸本登世一土木工学科科長らが出席された。

席上、斎藤副学長から、「吉野高校が有する3学科が本学の学部・学科とピッタリと一致します。先行して2年前から森林科学科と人間環境学部との間で連携協定を締結し、着実に成果を上げてきており、今回は、その成果を受けて土木工学科と都市創造工学科が連携することになりました」と期待を表明。続いて、川合校長が高校の紹介、高大連携に期待することなどを交えながらあいさつされた。

連携内容は、吉野高校での出前授業、本学での体験授業などが予定されている。

テクノフリーク部 コンテスト準優勝

八尾ロボットフェア

●八尾市の中小製造業などで構成される異業種交流グループ・マテック八尾主催の第2回八尾ロボットフェアが2月13日に大型ショッピングセンターのアリオ八尾で開催された。本学からテクノフリーク部が子供向けロボット展示・体験コーナー「ロボットと遊ぼう」に出展するとともに、ロボットコンテスト(大学チームなどが参加するトーナメントB)にも参加し、トーナメントBで準優勝を飾った。

コンテストは、地元の大和川に見立てた川ゾーンからゴミを回収し、得点ゾーンに搬送する競技に挑戦するもの。テクノフリー

ク部は、1回生7人のチーム編成で個々の得意分野を生かして担当を分担、製作が困難なアルミ部品等はマテック八尾ロボット分科会などの協力を得ながら精度の高いロボット「Cleean」を作り上げ、コンテストに臨んだ。また、ペルーの大学の参加もあり国際色豊かな大会でもあった。

●参加チーム

- ・大学生合同5チーム
- ・OITエンジュニア(大阪工大)



- ・Cleean(大産大)
- ・ちり坊(小野)
- ・ロボクワサンカク(藤原電子工業)
- ・Inka Robot(サン・マルティン・ポーレス大=ペルー)



「チクリンチック」を出展

四條畷・ふれあい商工まつり

●四條畷市民総合センターで11月8日に開催された「第5回なわてふれあい商工まつり」に、大産大から「チクリンチックプロジェクト」が出展された。

大産大としては初めての出展。工学部建築・環境デザイン学科の川口将武助手と同学科の学生・卒業生、大産大発のNPO法人、環境デザイン・エキスパーツ・ネットワー

ク(EDEN = エデン)が、大東市における竹林保全活動の実態と竹の間伐材を活用した郷土・環境学習ワークショップについてのパネル展示、竹細工(竹箸、たけこっぽり、竹剣玉)や竹炭・ハーブ石鹸づくり等のものづくり体験を通じた環境デザインの展示を行った。

同まつりは、四條畷地域内外の企業や大学が集う産学連携の機会と共に、物産展やフリーマーケット、屋台村のテントが並ぶイベントで、地域住民を中心に8060人が来場した。チクリンチックプロジェクトのコーナーには、子供連れの家族や高齢者が多く訪れ、参加した学生たちは、初めて小刀等



を使う子どもたちの手を取って竹細工を教えたり、「マイ竹箸」づくりに夢中になる来場者と出来栄を見せ合うなど、さまざまな世代の市民と竹・ものづくりを通じた交流を行った。また、プロジェクトについて緊張した面持ちで他大学の先生方に説明する姿も見られた。



参加者と一体、盛り上がる

食と運動・健康フェスタでスポーツ健康学科活躍

●本学と大阪電気通信大、相愛大の3大学が連携し、健康で安心な社会の実現を支援する「おおさか食と運動・健康フェスタ」が「大学コンソーシアム大阪」の地域連携事業として2月14日、大阪市住之江区のポートタウンショッピングセンター・セントラルコートで開催された。

本学からは、スポーツ健康学科の学生、教員などが参加。健康・体力測定(血管年齢と体力の測定)や「笑って健康、楽しく運動」のミニ講座を実施した。

健康・体力測定では、血管年齢の測定・評価・カウンセリングなどが行われ、参加者から自己の健康を見直すきっかけとして「役立った」との声が多く聞かれた。事前の

学習で学生の知識や技術がレベルアップしたことはもちろん、参加者に対する測定・運動指導などの実践を通じてコミュニケーション能力や問題解決能力も向上した。また、約30人に対して膝伸展筋力の測定も行った。

ミニ講義では、黒川圭子・健康運動指導士による「楽しく行えて普段使わない肩甲骨周囲の筋肉を使う体操や脳の活性化をも期待できる運動」の指導が行われた。参加者は、1回目17人、2回目22人であったが、いずれの回も参加した市民からは自然と笑いが出る和やかな雰囲気となった。また、



前座として、1年生コンビが体操の概略説明や会場を盛り上げるトークを繰り広げ、参加者と黒川指導士との一体感を高めるなど、大いに活躍した。

当日は、各大学の特徴ある視点を生かした内容や学

生のキャラクターにも持ち味があり、各ブースを回った参加者は、さまざまな学生との会話を楽しんでいた。



大阪桐蔭高校女子サッカー部 大阪新人大会で2年ぶりV



大阪桐蔭・大商学園 前半4分、大阪桐蔭のMF吉田早紀がPKを決め先制。大阪日日新聞2010年2月22日付紙面より

●大阪桐蔭高校女子サッカー部は2月21日、長居第2陸上競技場で開催された大阪高校新人大会(女子の部)の決勝で、大商学園を3-1で降して2年ぶり2回目の優勝を決めた。

前半4分には先制し、前半終了間際にもFW金井奈苗(Ⅲ類1年)がドリブルからシュートを決めて2-0で前半を終了。後半に双方1点ずつ取り合って、2点差のまま勝利した。

天野泰男監督は「多少硬さはあったが、早い時間帯にPKで点を取れてリズムに乗れた。よくやったと思う」と選手を称えた。松井美樹主将(Ⅲ類2年)も「いい経験になりました。相手の勢いにのまられることが多いけど、

落ち着いて楽しんで戦えた」と笑顔で語った。

チームの目標は全日本高校女子選手権出場。天野監督は「頭を使ってどう戦うかを常に考えて工夫していくことが大切」と、次を見据えて気を引き締めていた。チームのスローガン「INDOMITABLE SPIRIT(負けじ魂)」を発揮して、関西予選突破を期待したい。

◇大阪新人大会結果◇

準決勝 17-0 合同A(千里青雲・柴島・鶴見商業・大阪国際滝井)

決勝 3-1 大商学園

ソーラーカープロジェクトを紹介

JAF 地方選手権表彰式

●2009年JAF 地方選手権表彰式が2月7日、ホテル阪急エキスポパークで開催され、本学のソーラーカープロジェクトが2009年FIA代替エネルギー部門カテゴリー1ソーラーカークラスのチャンピオンとして招待された。

昨年1年間のJAF近畿地方選手権およびJMRC近畿シリーズの上位入賞者(延べ267人)への表彰式の最後に、今年度のジムカーナ・ラリー・ダートトライアルの全日本選手権の各チャンピオンとともに名誉ある受賞を紹介された。

登壇したソーラーカープロジェクトの三浦愛さん(機械2回)は「昨年は皆様のおかげで優勝することができた。今年も目一杯頑張るのでぜひ応援してください」と話した。

式の終了後には本学卒業生で、全日本ラリー選手権クラス1チャンピオンの西山敏氏が「会報であなたたちの活躍を知っています。今後も大産大のために頑張ってください」と激励した。



左から須藤隆助手、三浦愛さん、村上雅享助手

クラブ活動の記録

大産大

★体育系クラブ★

■スキー競技部

○2009FISCHER CUP第13回朝日ノルディックスキー大会(12/25~26朝日クロスカントリースキージャンプ場)8位 植田康孝(文化2回)(ジャンプ12位、クロスカントリー5位)

○第37回全日本クロスカントリースキー旭川大会(1/14富沢クロスカントリースキージャンプ場)63位 植田▽66位 大野良太(交機1回)

○常陸宮賜杯第60回中部日本スキー大会(1/24富山県極楽坂スキー場)アールペン成年男子大回転12位 大川直輝(経済3回)1分02秒51

■弓道部

○関西女子学生リーグ(11/8大阪産業大学弓道場他)5、6部入替戦 25-39 梅花女大※6部降格

■自動車部

○MAX challeng Xmas フェスティバル(12/18~20中山サーキット)8位 三浦愛(機械2回) ファイナル・プレファイナル6位、予選ヒート②8位、予選ヒート①6位、公式予選6位

■テコンドー部

○第10回拳樹会オープン(12/20大阪市中央体育館)54kg級1位 松下総士(経営1回)▽同2位 横井智行(文化1回)▽63kg級2位 大橋和真(機械1回)▽72kg級1位 牛窪弘志(経済1回)▽同3位 野村侑輝(都市創造1回)▽82kg級3位 堀尾和行(機械1回)

○第5回日本橋オープン大会(1/10日本橋小学校体育館)70kg級3位 牛窪▽70kg超級3位 堀尾

■アーチェリー部

○第14回関西学生インドア選手権予選(12/5~6阪大吹田キャンパス体育館)【リカプ】女子24位 宮崎里圭子(スポ健1回)187点269点※決勝進

出

○第14回関西学生インドア選手権(12/12~13関電総合運動場体育館)【リカプ】女子決勝トーナメント1回戦敗退(15位) 宮崎187点101点▽同予選16位 宮崎543点(総合計)

■硬式庭球部

○第11回兵庫県知事杯2010アオノ正月オープン(1/11~17青野運動公苑)女子シングルスベスト8 榎田舞(スポ健2回)▽同ベスト16 青山美姫(流通1回)▽女子ダブルスベスト4 柳瀬洋子(流通1回)・榎田組

★文化系クラブ★

■吹奏楽部

○第26回定期演奏会(12/23大東市総合文化センター・サーターホール)3部構成【第1部】「君の瞳に恋してる」「ディーブパーブルメドレー」等4曲【第2部】「ミュージカル風のステージ」【第3部】「写楽」「シンフォニアノビリッシマ」等計4曲を演奏

大阪桐蔭高等学校

■ラグビー部

○第61回近畿高校大会府予選(1/24~27東大阪グラウンドほか)2回戦140-0高津、準決勝12-5常翔啓光、決勝62-0合同E(金光大阪、金光八尾、八尾)※近畿大会出場

■卓球部

○第24回近畿高校新人大会兼第37回全国高校選抜大会近畿予選(12/25、26滋賀県立体育館)【学校対抗の部】2回戦3-0西城陽(京都)、3回戦3-0桐蔭(和歌山)、準々決勝3-1滝川(兵庫)、準決勝3-1龍谷大平安(京都)、決勝0-3東山(京都)メンバー=山内、櫻井、山上、川上、政本、奥山、高田、福島※第37回全国高校選抜大会(3/26~28福島県郡山総合体育館)に19年連続19回目出場

クロスワードパズル

QUOカードが
当たる!

縦のヒントと横のヒントを参考に空白のマスをひらがなを入れ、クロスワードを完成させましょう。「カギ」の4文字で、言葉を作ってください。正解者には、抽選で50名に景品(QUOカード)を用意しています。応募資格は、大阪産業大学(大学院含む)、同短期大学の学生および大阪産業大学附属中学・高等学校、大阪桐蔭中学・高等学校の生徒に限ります。

解けた方は、大学・短大は、本館1階の学生部、4号館2階の工学部事務室、3号館1階の短大事務室など学内10カ所に、産大中・高と桐蔭中・高は、事務室に設置しているクロスワードパズル投函箱に入れてください。発表は、景品発送をもって代えさせていただきます。

応募方法は、コピーをとるか、メモ用紙に解答と学籍番号(中・高は学年とクラス)と氏名を明記して投函してください。

締め切りは、2010年3月27日(土)まで(1人1応募に限ります)。前回のクロスワードパズルには、295人の応募があり、厳正に抽選してQUOカードを50名様にお送りしました。ご応募ありがとうございました。

(1)(A)	(3)	(5)	(7)		(B)	(11)
(C)			『カギ』	(9)		
			(D)			
(2)(E) 『カギ』		(6)				
		(F)	(8)		(10)	
(G)	(4)				(H)	(12) 『カギ』
(I)	『カギ』					

答え



学籍番号
(学年・クラス)

氏名

縦のヒント

- 4月5日は「〇〇町の日」です。『*(4)*(5)ちょう』の語呂合せだそうです。
- 袈裟斬り〇〇〇〇。逆水平〇〇〇〇。
- 飲酒〇〇〇〇。脇見〇〇〇〇。居眠り〇〇〇〇。
- S→M→〇〇。
- 自業自得「身から出た〇〇」
- 恥ずかしい「〇〇から火が出る」
- 「η」←コレ。〇〇〇。
- T〇〇〇。Y〇〇〇。
- 場所・建物などの運の状態をみる占い。〇〇〇〇。
- 切れ切れになった文章。「断簡〇〇墨」
- ホップ、ステップ、〇〇〇〇。
- いろいろなはかりごと「権謀術〇〇」

横のヒント

- 外敵を防ぐ場所。〇〇〇〇〇。
- 「〇〇も外聞もない」
- 4月6日は、「〇〇〇〇〇〇の日」です。1875(明治8)年、〇〇〇〇〇の缶が特許登録されたそうです。独特の台形の形は、中に肉を詰めやすくする工夫らしいです。
- アミノエチルスルホン酸。〇〇〇〇〇。
- 地下水の過剰な採取により地盤〇〇〇がおこった。
- 布団などを収納する場所。〇〇〇〇〇。
- 「転ばぬ先の〇〇」
- 知事・議員の〇〇を争う選挙を行う。
- 缶容器の上面の引き金を手で引っ張って開ける缶切り等がいらぬ方式。〇〇〇〇〇。

キャンパスセラピー

⑥

キャンパスで学生たちに、どんな風に時間を使ってるのか尋ねてみると友達とおしゃべり、それにメールというのが圧倒的に多いようです。もちろん友達は大変だし、おしゃべりは息抜きになるし、メールも誰かとつながってる安心感が得られるからいい事なんです。でもね、おしゃべりも度を過ぎると副作用が出ます。いくら楽しいことでも度を過ぎるのは良くないんです。酒好きが高じるとアル中になるでしょ。あれと似てるかな。おしゃべり中毒(ぼくの造語)略して「シャベ中」。これに罹ると、まず初期症状として、誰かとしゃべってないと不安になります。それで友達に会ってない時間が空虚に感じて四六時中電話ばかりするようになります。更にシャベ中が進行すると、自分の考えが後退して他の人がどう考えるかばかりが気になります。自分はどうか考えているのか分からなくなり、人に相談して指示を望むようになります。「授業出る方がいいかなあ?」「どこに就職すればうまくいくのかな?」「昼に何食べたらいいいかなあ?」なん

自分に 時間 をつくる

てね、自分で考えて決めるべきことを、何でもかんでも人に相談するようになると、ちと重症ですぞ。もう一つ、気になるのが「役割依存症」(これもぼくの造語)。ふだん皆さんは、さまざまな役割を負って生活していると思います。「学生として」「子として」「兄弟として」「バイト生として」書き出すとキリがないほど多くの役割を果たしています。大したものです。でもね、役割を果たすことに熱心になりすぎると、本来の自分独自の感覚や考えが弱ってしまいます。役割に没頭すると柔軟性がなくなって常識や世間でガチガチになってしまいます。役割は立派に果たしているけど、心ここにあらずという感覚があれば、役割依存症



ロンドンのコベント・ガーデンという場所(映画:マイフェア・レディで有名な場所)で見たチャップリンみたいな大道芸人。大勢の見物人が応援していました。

の可能性あります。でも重症になるとそんな感覚も無くなってしまいかもしれません。重症の人は役割が終了したとき危機が訪れる可能性があります。役割という鎧を着ているときは症状は軽微ですが、その鎧を脱いだら、中身が抜け殻だったなんて怖いことにならないように……。自分を無くさないためには、独りになる時間をつくるのが大事です。独りになると自然に本来の自分に戻ります。でもシャベ中の人や役割依存症の人には最初辛いかも知れません。少し禁断症状が出るかも知れません。禁断症状の一番は「寂しさ」かなあ、次はたぶん「不安」。そこはぐっと我慢していると、少しずつ改善します。散歩もいい方法です。一人ブ

ラブラ散歩して「いま、ここ」にココロがつかない止められるようになればまずはめした。そのうち自分がどう感じ、どう考えているかを振り返るようになるので、自然に本来の自分を取り戻せます。回復してくるとうまくバランスが取れるようになってきます。過剰なおしゃべりを制限して、役割は役割として割り切ることが出来るようになるでしょう。もちろん、このバランスというのは個人差があって、自分に戻る時間が比較的少ないのが外向的な人、多いのが内向的な人ということになるかもしれませんが。ただし、自分に戻る時間がゼロというのはいけません。

さて「シャベ中」やら「役割依存症」なんて造語つくって、少々茶化してしまいましたが、二つともストレスの高い現代を生き抜くためには仕方ない対処法なのだと思います。しかし、何度も言うように、過剰はいけません。適度のバランスが必要です。つまりは適度に独りになって自分に戻る時間を持つことでしなやかに、ストレスの荒波を乗り越えていきましょう。グッド・ラック!

文化コミュニケーション学科教授
なかがわ中島クリニック院長

中川 晶

編集後記

卒業、入学のシーズン。NeOSUは卒業生、新入生向けの特集を組みました。新入生に大産大の魅力を紹介するために開いた学長・学生座談会は、初めてキャンパスに足を踏み入れる新入生の今後の学生生活にさまざまなヒントを与えてくれる内容になりました。その一方で、座談会に参加した現役学生にとっても、今後の活動に「CHANGE」をもたらす大きなきっかけとなったようです。インターネットのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のコミュニティーを学部、学年を超えて全学に広めたい、という学生の発言に他の学生も賛意を示し、籠谷学長も応援を約束しました。学生同士のつながりを強めたいという思いは全員共通。座談会終了後は、参加者同士がメールアドレスを交換して連絡を取り合うことを約束していました。全学生が参加するSNSが構築されれば、大産大の学生生活はより濃密なものに一変する可能性があります。楽しい企画です。NeOSUでも何らかの形で協力していきたいと考えています▲今回のNeOSU表紙はランゲージカフェの学年末パーティー写真。英語、フランス語、中国語など6言語のネイティブの先生たち

と学生が和やかに語り合う国際色豊かなパーティーです。参加者の生き生きとした表情が日々の活動の楽しさを物語っています。ランゲージカフェは1日2言語のネイティブの先生が常駐しており、学生は自由に入室して先生と会話することが出来ます。会話内容は自由。いわゆる世間話を楽しむことが出来ます。留学などを目的に語学力を強化する目的の学生もいますが、そうした目的がなく何気ない会話をを楽しむ学生も参加しています。新入生を含め、在学生にとって魅力のスポット。大いに活用しましょう▲大学キャンパス内にNeOSUスタンドが登場しました。この冊子を収容するスチール製の棚。新しいスタンドから3月号を手にした学生も多くいることでしょう。これまでは校舎内に平積みされていましたが「目立たない」という声を受けての新登場です。NeOSUは言うまでもなく学園の総合広報誌。学園を知り、学生生活を知るための強力な情報媒体。より多くの学生に読んでもらう工夫のひとつです。目に留まったら、手に取ってください。

(編集長・山名康弘)